

## 【凡例】

1. 本目録は、本学特殊文庫所蔵黒川家旧蔵書・正宗敦夫氏旧蔵書 及びその他の古書によって編成した。黒川家旧蔵書は「黒」、正宗敦夫氏旧蔵書は「正」、その他は無印として区別した。
2. 本目録の分類法は、宮内庁書陵部和漢図書分類目録のそれに準拠し、本学蔵書の性格に即して類目を定めた。
3. 本目録は、掲出図書毎に、分類・書名・書名ふりがな・構成・寸法タテ・寸法ヨコ・編著者名・刊写年次・書写者・貴重書・文庫名・函架番号・DOI・注記を記載した。
4. 書名は、主として内題によって記載したが、外題、奥題、旧題または異名等、特に参考とすべきものは、これを注記に掲げた。
5. 注記の欄には、主として掲出本の系統、成立年代及び 事項、或いは巻数等を注し、その他、付、一名、合綴、細目等を注記する場合もある。なお年代注記には、例えば元禄三年及び八年のものは「元禄三、八」とし、元禄三年八月の時は「元禄三・八」のごとく略記した。欠巻のある場合は「一二巻(三欠)」のように、本来あるべき巻の下に欠巻を( )で記した。欠巻の多い 零本は、欠巻を示さず、残存の巻のみを示した。系統は、原則として定説ないしは通説になっているもののみを書き入れた。
6. 編著者名の欄には、原編著者に限って単に氏名のみを注し、それ以外の例えば、校、注、訳、訂、判、答、図等の場合は、その区別を注した。この場合、成立年次の明かなものは、その左側に年次をも並記した。なお、古今和歌集金葉和歌集のごとく編者名の明かなものは、まますれを省略した。
7. 刊写年次・筆者については、その記載あるものは勿論、ない場合には出来得るかぎりの推定時代乃至筆者注記した。筆写の時代名は、平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸とし、江戸は更に初・中・末に区別した。書写者が筆跡によって推定される場合は、「鎌倉写(伝——筆)」とし、「(伝為家筆)」のように、時代の左横に記した。書写者・書写年が明記してある場合は、「元禄五写(書写者名)」のように、年次を先に書写者を( )に入れて後に記した。刊本の場合、原則として出版書肆等は省き、刊年のみを記した。後刷りその他後補のある時は、( )してその旨を示した。無刊記の推定版年は( )に入れ、整版と、古木活、活字の区別を施した。
8. 書名の排列は、類目毎に通行の発音式五十音順に従った。その場合、冠称、角書の類は、原則としてこれを採らなかつた。同一書の場合は、完本を先とし、次いで有欠本を排した。その中で、写本、版本、複製本の順とし、時代順とした。また同一系統のものはまとめた。

本目録は、JSPS 科研費 JP23K00310、2023 年度学長裁量経費教育改革研究助成金の助成を受けた研究成果に基づくものです。これまで特殊文庫調査及び目録作成にご協力くださった海野圭介先生、新美哲彦先生、木下華子先生、野澤真樹先生らに深く御礼申し上げます。

2024 年 5 月吉日

特殊文庫に関する専門委員会 江草弥由起 記